どんごクラブ

津山だいすき!

わたしもひとこと

暮らしの情報 たくさん「広報つやま」

長年住んでいても、津山について知らないことがたくさんあります。「広報つやま」でいろいろと分かり、とても役に立っています。（上横野・女性）

「広報つやま」を読むと、市政の状況などがよく理解できます。また「けいじばん」を見て、イベントなどに参加しています。（吉見・女性）

いつも「広報つやま」を愛読いただき、ありがとうございます。「広報つやま」は毎月10日に発行し、市の新しい政策や旬な話題、講座やイベントの紹介などの情報を掲載しています。

来月、平成22年1月号からは表紙を始め紙面全体のデザインを一新し、リニューアルした「広報つやま」をお届けします。

デザインのほかにも、新たに「こどもひろば」と題してスポーツ少年団や子ども向けの講座などを紹介するコーナー、津山の古写真を紹介するページなどを設けます。また、イベントやお知らせなどの情報を充実させるために「けいじばん」を6ページに増やします。

これからも市民の皆さんに広く読んでいただき、役に立つ情報を提供できるよう努めていきます。リニューアルした「広報つやま」へのご意見・ご感想もぜひお寄せください。

問い合わせ先　市長公室☎32-2029

未来をひっぱる津山人

「語り」を通して伝える文化

岡山民俗学会名誉理事長・日本民話の会運営委員

立石　憲利さん（中北上出身）

全国各地で民話の収集を行い「語り」を通して民話のすばらしさを伝えている「立石憲利おじさん」。市立図書館に講演に来られたところを取材しました。

民話に魅かれる理由は？

民話は人生を生きていくための知恵の宝庫です。単に話が面白いだけでなく、大人になって困難にぶつかったときに「ハッ」と気付くような深い意味が含まれているのが魅力ですね。

民話の調査をし始めたのは、民俗学を研究していた高校の先生の影響でした。高校3年の時に民俗に関するレポートをまとめたところ、先生が日本民俗学を確立した柳田國男先生に送ってくれました。柳田先生は朱をたくさん入れて送り返してきてくれ、それが民俗や民話を研究する励みにもなりました。

現在までに全国で収集した民話は約7千話。近くでは旧阿波村や鏡野町、奈義町などの民話を収集していますし、高校時代には旧久米町の大井西村や宮部村の調査もしました。

「語り」のすばらしさは？

「読み聞かせ」では子どもたちは本に目を向けてしまいます。「語り」は語り手の言葉や手振り身振り、表情など、語り手の人間性を含めてすべてで聞き手に伝え、聞き手は相づちを打ちながら聞きます。語り手と聞き手である子どもに双方向の関係が生まれ、子どもたちは人間関係の築き方も学んでいくのです。

今後の夢は？

収集した民話などは本などにして現在196点出版していますが、まとめられていないものもたくさんあります。旧久米町のものでも、何十年も前にテープで記録したままになっているので、元気なうちにまとめ、後世に伝えていきたいですね。

また、県内各地で語り手育成の講座を開いており、修了生のうちで「語り」を行っている人は現在約百人います。県内の小学校1校当たりに1人の語り手ができるように語り手育成を頑張ります。そうなれば民話を子どもたちに肉声で伝えることができる機会が多くなります。

長年地域に伝わっている民話は日本の貴重な文化です。その貴重な文化を後世に伝えていくことこそ、わたしの夢ですね。

▲弥生小学校で民話を語る立石憲利おじさん

講演会で最初はぐずっていた幼児がだんだんと「立石おじさんの語り」に夢中になり、あちこちで笑いも生まれていました。ほのぼのとした語りの中に、民話の奥深さを感じることができました。

わたしのおすすめ

※今回は13ページで紹介した中島くんと米澤くんの取材を基に編集しました

地域のみんな、あつまぁれ！

津山ひかり学園 ひかりの丘 所長 溝曽路（みぞろ） 賢（けん）さん

知的障害者通所作業所「津山ひかり学園　ひかりの丘」のふれあい交流館「しょっぷ・あつまぁれ」がオープンしました。

「ひかりの丘」通所者が作った手作りパンなどを販売するほか、地域の交流の場になることを願い「あつまぁれ」と名付けました。また「しょっぷ」には「仕事場」という意味もあり、通所者の働く場としての役割もあります。

安全・おいしい・手作りをモットーに「ひかりの丘」で通所者が作った菓子パンや食パンを始め、クッキーやみそ、草木染め、さをり織りの小物などのほか、地域の農家に栽培してもらった新鮮な野菜も販売しています。

店内のテーブルやイス、庭の芝生などはすべて通所者と保護者やボランティア、職員などで力を合わせて作り上げました。休憩できるコーナーが店内外にありますので、気軽に集ってもらい、通所者との交流の中でいろいろな感想やアドバイスなどがもらえるようになればうれしいですね。

将来的には「あつまぁれ」でパンを作り、軽食喫茶ができるようにしたいです。パン作り教室なども開き、通所者と地域の人たちとの交流の輪を広げていきたいですね。

ふれあい交流館「しょっぷ・あつまぁれ」

ところ　津山市押入955-1
営業時間　火～金曜日午前11時～午後２時
問い合わせ先　津山ひかり学園☎26-7525

ほっと情報

吉門（よしかど）　佳子（よしこ）さん（近長）

「全国水墨研究会合同展」文部科学大臣賞受賞

９月に北九州市で開催された「第10回全国水墨研究会合同展」において、吉門佳子（雅号・南窓（なんそう））さんの作品が審査員から「古典的な題材を自分のものにしている」と評価され、最高賞の文部科学大臣賞に選ばれました。

同展には、北海道から沖縄まで全国から約300点の作品が応募。吉門さんの作品は梅の古木を描いた「早春に香る」で、墨の濃淡のみで木肌を表現するとともに、筆の勢いと余白に工夫を凝らしたそうです。